

## プロベース

### 【禁忌・禁止】

本品又はメタクリレート系モノマーに対して過敏症状を有する患者には、使用しないこと。

### 【形状・構造及び原理等】

\*[種類]

種類	シェード
ホット	ピンク-V ピンク-V インプラント
コールド	ピンク ピンク-V ピンク-V インプラント クリア Preference

[付属品]

- ・ポリマー用メスシリンダー
- ・ミキシングカップ
- ・モノマー用メスシリンダー
- ・ポリマー用プラスチックコンテナー

[その他用意するもの]

- ・埋没用フラスコ
- ・埋没補助具
- ・石膏
- ・石膏分離材
- ・プレス器
- ・レジン分離材(セパレート液)
- ・加熱重合用バス(ホットを使用する場合)

[原理]

本品の粉と液を練和し、プレス器で圧縮し成形した後、沸騰水中で加熱することにより、レジンを重合させ、義歯床を作製する。

### 【使用目的又は効果】

義歯床を作製するために用いる。

### 【使用方法等】

1)ホット

1. 通法に従い、ろう義歯をフラスコに硬石膏で埋没する。
2. フラスコを熱湯の中で10分間予熱し、その後、確実に流ろうする。
3. その後、石膏面にレジン分離材を塗布する。
4. ミキシングカップに液を入れ、粉を加える。通常22.5gの粉(ポリマー)に対して10mLの液(モノマー)を混合する。
5. スパチュラでよくかき混ぜ、ミキシングカップに蓋をし、23℃の室温に8～10分放置する。
6. 表面のべとつきがなくなったら、23℃の室温で20分間以内に作業する。
7. 混和したレジンを人肌(40℃)に温め、通法に従い、室温のフラスコに填入する。80気圧でフラスコを閉じ、余分なレジンを取る。
8. 上記7.の操作を2～3回繰り返す。
9. 以下のいずれかの方法で、レジンを重合する。
  - a. フラスコを冷水中に入れ、100℃まで沸騰させ、45分間煮沸する。
  - b. フラスコを冷水中に入れ、70℃まで加熱し30分置く。そ

の後100℃まで加熱し、30分間煮沸する。

- c. フラスコを70℃の熱湯に入れ、60分置く。その後100℃まで加熱し、30分間煮沸する。
  - d. フラスコを煮沸した熱湯に入れ、再度煮沸させ、40分間煮沸する。
  - e. フラスコを冷水中に入れ、80℃まで加熱し10時間重合する。その後一晩放冷する。
  - f. フラスコを80℃の乾燥したインキュベータ内で10時間重合する。
10. フラスコを30分間室温で冷却し、完全に冷却するため、冷水につける。
  11. 完全に冷却したフラスコをあけ、埋没石膏を除去し、義歯を取り出す。
  12. 義歯の咬合をチェックし、通法に従いインスツルメントで切削・研磨する。
  13. 修正を行う場合はコールドの流し込みで行うこと。
  14. 製作後は滅菌消毒を行い、乾燥しないように袋に入れて湿潤状態で保管すること。

2)コールド(流し込み技法)

1. 完成したろう義歯をシリコンパテで型をとり、その後、脱ろうする。
2. よく濡らした石膏模型の表面にセパレート液等の分離材を2層塗布する。
3. 石膏模型を乾燥させ、人工歯の脱落防止のため、機械的維持をつけ、シリコンパテに戻す。
4. スパチュラで粉と液をよくかき混ぜ、23℃の室温に15秒放置する。通常15gの粉(ポリマー)に対して10mLの液(モノマー)を混合する。
- \* 5. 室温で約4分で凝固し始めるので、この間にシリコンコアへレジンを注入し充填を終える。部分的にレジンを充填する場合は、必要箇所へプライマー処理後に、4.で事前に混合した流動状態のレジンを清潔なスパチュラ等で築盛する。

6. 加圧し、余剰物を除去する。これを必要に応じて数回繰り返す、7分以内に形成を終了する。
7. プレッシャーポットで、40℃、2～6気圧で15分間重合する。
8. 咬合をチェックし、通法に従い、インスツルメントで切削・研磨する。
9. 製作後は滅菌消毒を行い、乾燥しないように袋に入れて湿潤状態で保管すること。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- ・重合前の本品が肌、粘膜、目などに触れないよう注意すること。
- ・市販の手袋はモノマーが短時間で浸透するので、本品が付着した場合は、直ちに手袋を捨て流水で洗浄すること。

### 【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

1. 本品の使用により、発疹、皮膚炎等の過敏症状が現れた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。

- 2.代謝疾患のある患者に使用する場合は、医師に相談すること。
- 3.液又は液と粉末との混合物は、刺激性があるので、直接素手で触れないこと。皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿などで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。
- 4.液には引火性があるので、本品を火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。
- 5.本品を使用する際には、蒸気を吸い込まないように、適切な換気がなされている場所で室温にて使用すること。
- 6.本品を高温となる場所(ストーブの側、直射日光の当たる場所等)に放置しないこと。
- 7.重合した義歯床は、口腔内に装着するまで水中に保存し、残留モノマーを溶出させること。重合温度が高いほど、また、重合時間が長いほど残留レジンが少なくなるので、高温で長時間の重合を推奨します。
- 8.人工歯の素材にアクリル系レジンと熱重合による化学的接着性がない材質の場合は、人工歯基底部にアンダーカットを形成すること。
- 9.金属部分の変色を防ぐため、正しく研磨すること。
- 10.清掃に溶剤は用いないこと。
- 11.お使いのシリコーンによっては、変色する場合があります。
- 12.液体を廃棄する場合は、環境汚染を防ぐため、流しに流さないこと。
- 13.室温により初期填入時間が異なるので注意すること。

**\*【保管方法及び有効期間等】**

直射日光を避け、2～28℃で暗所保存

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

[製造販売業者]

Ivoclar Vivadent株式会社

電話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657

www.ivoclarvivadent.jp

[製造業者]

Ivoclar Vivadent AG (リヒテンシュタイン侯国)